（1）（除日曜）第三種郵便物認可 夕刊 昭和21年6月1日 昭和24年2月28日 運輸省特認第238号 いわき民報 夕刊 昭和30年6月8日（水曜日） 第2774号

夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48
いわき民報社
編集部 電381
営業部 電1222

一人が十萬圓程度
セメントで夏期手當

官公労、一般労組の夏期手当斗争に魁け、依然として白糸ブームの余じんを受けて好景気をみせている磐城セメント四倉工場では六月四日、一般会社、官庁では手のとゞきそうもない昨年末と同じなみのボーナス袋を支給した、職員級は最高十二万円から最低六万八千円台、工員は最高十万円から最低三万二千円

同工場は社員株であるため、頂戴したボーナス袋の内容については労組も一さい口を黙して語らない

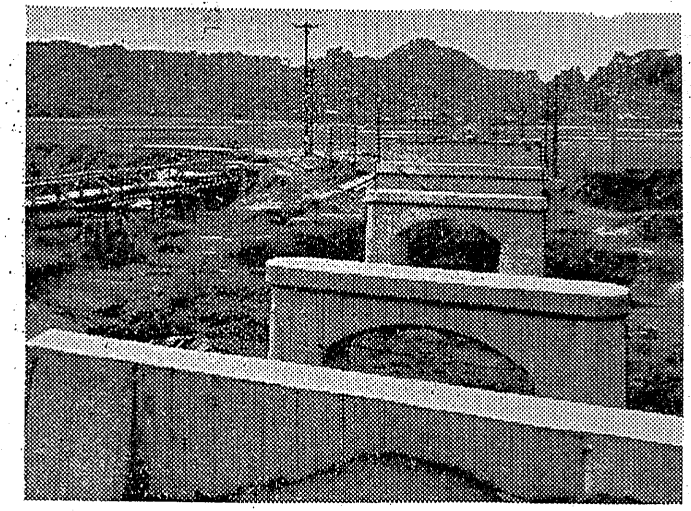
總合開發調査へ
十日専門委一行來郡

県総合開発専門委員岡野都多治、小松友義（東北電力監査係）篠崎平馬（山形大学教授）三氏からなる調査団は十日午前十一時半平駅着で来郡、十二日まで三日間にわたり常磐総合開発促進の綜合的細密調査を行う、調査日程次の通り

▼十日午後一時から❶常磐総合開発の全般❷平、内郷、常磐各市の発展施策❸低品位炭活用火力発電ガス化について各関係機関代表から聴取したのち、午後三時半から常磐炭鉱視察

▼十一日午前九時半から❶小名浜港を中心とする産業開発❷コッパース炉建設を期とする次期新興産業❸製塩工場拡張に伴う技術的政治的検討❹工業用地と工業用水の確保につき小名浜湾日本水素小名浜工場、製塩工場視察

▼十二日午前九時から❶勿来市今後の産業開発について❷火力発電所その他受入対策について❸クレハロン等の第二次加工産業について勿来市に入り呉羽化学—呉羽化成、火力発電建設受入地点の視察を行う



常磐労組で中央委員會

常磐労組中央委員会は八日午前九時から開き、ベースアップ斗争経過その他の報告に続き、午後からは役員改選期日につき協議したが九日受付、十日午後二時締切り、十八日投票日となる模様

楊貴妃と王昭君
講演會終る

古泉延隆氏の「楊貴妃と薄命の美人王昭君」と題する講演会は本社主催、世界館後援で七日夜本社ホールで開いた、白楽天の名作長恨歌を掲示して楊貴妃が豪華を極め遂に国を亡ぼし王の馬前で殺されるまでの一生の生活、これと対照的な美人王昭君の節操を守つて一生を終る悲劇を二時間半に亘つて説明、聴衆は僅か廿数名であつたが熱心に聴き入り多大の感銘を受けた

新田橋八月に完成
漸やく下部工事成る

◉—平市新川町商店会では新川に架かる新田橋が一体何時ごろ完工するのかと首を長くして待つているが、これが完工しないと飯野方面の客足がばつたりさらわれてしまうので気をもんでいる、現在常磐交通のバスがこの商店会通りを通過して三十米道路に抜けているが、徒歩客が少なくなつているので売上げにも相当影響している

◉—橋の下部工事は七百八十九万円で磐城土建が請負すでに完工、目下両側の取付道路の工事を進めているが、橋の上部工事は六百七十万円で福島ドツク（元福島製作所）が請負、新尼子橋の如く鉄橋にするため、資材を作製中で近々に着工し八月一杯まで完工の予定

◉—橋梁の幅延は六・五米、延長四十八米となつており、とてもガン強な橋がお目見得することになる【写真は下部工事の完工をみた新田橋】

新舞子や豊間
宣傳ポスター完成

合併後はじめての海をもつた平市では涼風誘う豊間の海水浴場、日本百景の一つに数えられている新舞子を広く宣傳し、早くから観光客誘致の準備をとゝのえるため、観光ポスターを作成、愈々宣傳開始に乗出すことになつた、ポスターは一見で観光客の魅力をそゝるだけの吸引力をもつたものでなくてはならないというワケで、出来上つたポスター二枚の選択に一苦労「宣傳文句はどうしよう」と鯨岡課長へ集まつた記者連にお智え拝借していた【写真出来上つた涼風誘うポスター】

重要な産業の一つ
ミリン干振興へ
縣で産地診斷八月末に結論

県経済課では磐城地区（江名、小名浜、中の作、豊間）のミリン干不況打開のため八日から八月二十四日まで「ミリン干産地診断」を行つた事になつた、年間生産額五億と称せられ県重要産業の一つとなつている磐城地区のミリン干は昨年の中毒事件以来原料高、人件費高から本年は需要激減して同四地区の十五組合百五十四業者は未曾有の恐慌に追い込まれた、このため県経済課では七日午後一時から磐城市会議室に県商工課、県水産課、水産試験場、水産事務所、県商工組合連盟、平市商工課、磐城市商工課、業者代表が参加して緊急協議会を開き、❶産地診断と促進の県体化と方針を協議し、直ちに八日から百五十四業者の産地診断を始め指導するとともに八月二十五日までに結論を出してミリン加工業者の振興を計ることになつた

未拂が五千萬圓
縣工事請負者大弱り

県の赤字財政で県の土木事業を請負つた業者は県からの未払金に頭を痛め不景気の折柄事業資金のヤリクリがつかず、他の請負工事をおくらせているという事態にまでなつている、平土木監督所の話では管内二十一業者に対し五千万円程度の未払額で特に大きく事業を進めている磐城土建KKでは二千万円、堀江工業KKでは一千万円程度になつていると語つている

胡麻沢に建設中の市営アパートは工事難から五月一杯（契約は三月一杯）までにのびたが、請負の磐城土建では資金難から七月一杯まではかゝるものとみられ市営繕課では期限内に完成しないため国庫補助が打切られるのではないかと心配、一方県の未払金に泣く業者の立場にたつても同情している

内郷市吏員
きよう大會

内郷市吏員大会は今八日午後四時から浅野記念館で開く、問題は吉田臨治吏員が選挙事務について告発されているにもかゝわらず選挙管理委員長緑川千代治氏はわれ関せずといつた態度で、これでは選挙事務に協力出来ない、吏員としての今後の態度を申し合せるため

優良運轉者と懇談會
事故防止へ

内郷署並びに同市交通安全協会では交通事故を防ごうと四日午後三時から昨年県でたゞ一人日本交通安全協会長賞を受けた磐城通運KK配車係山崎実さん外優良運転手として表彰を受けた九名を同市公民館に招き、交通事故防止懇談会を開いた結果、始業前の車輌点検や交通法例をよく守れば事故も起きないからこれを実施普及に努めることに決つた

なお管内の事故発生件数は八件（内二名即死六名重軽傷）中一番多いのはスピード違反となつている

役員を改選
菊多PTA

菊多方部連合PTA総会は七日午前十時から植田小講堂で開かれ二十九年度の決算報告後、役員の改選を行つた結果左の通り選任

会長下山田勇（植田）副会長小沢要助（入遠野）緑川鉄太郎（田人）円通重一（遠野町）幹事秋山豊（山田）高木好栄（錦町）石城郡連合PTA準備委員下山田勇、円通重一

楠洋裁で料理學校

常磐市表町通り楠洋裁学院ではこんどクッキングスクール（料理学校）を新たに併設することとなり十日より授業を開始、授業は昼、夜間部で生徒を募集している

天気予報（八日）

【今晩】南東の風降つたりやんだり

【明日】南西の風曇朝小雨次第に晴

海上は今晩明日とも風波が出て見透しが悪い

物見ヶ岡

今朝ラジオで野鳥の鳴き声を聞いた、ホトトギスの声からカツコー鳥などさまざまな小鳥の鳴き声に深山幽谷に行つたような気分になつていゝ心持だつた▼初夏の暑からず寒からずの陽を浴びて若芽もえる薫風をほてつた顔に受けながら山野を歩く気分は生きていることの喜びを一入深くするもので、いまが一年中で一、二を争うい〻時期だと思う▼都会の生活をしていると朝から晩までラジオや自動車の警笛、電話のベルの音など器械から流れでる金属性の金切声に悩まされ通しである、これでは人生を深く考える余裕がないのも当然▼こうした環境に育つ子供たちの中から物慾だけにはしつて悪児童に転落して行く者が尠くないのは無理からぬことゝも考えられる、小鳥のサエヅル声や小川のセセラギの自然の音楽の良さを味あわせれば心身ともに清められたような気分になるものだ▼子供たちを自然に親しむようにシツケるのはいまが一番いゝ時期、日曜日などは一家揃つて山野を歩き豆詩人をつくり上げるようにしたいものと思う、そうすることによつて不良化防止の一策にもなろうし、長じては大詩人にならないとも限らない。

清松院 葬送の際は御多用中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御丁重なる御香奠を賜わり御芳志の段誠に有難く厚く御礼申上げます

早速拝趨の上御礼申上げるが本意で御座いますが略儀ながら紙上を以つて御礼の御挨拶申上げます

昭和三十年六月八日
平市田町二六
喪主 父 **佐藤幸太郎**
妻 タマ
外親戚一同

正念院 葬送の際は御繁忙中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御丁重なる御香奠を賜わり御厚情誠に有難く御礼申上げます

実は一々拝趨御礼申上ぐべきところ略儀ながら紙上を以つて御礼申上げます

昭和三十年六月八日
平市一丁目三一
嗣子 **富田芳郎**
男 富田郁郎
外親戚一同

「時の記念日」ポスター懸賞
募集入選發表

▽一席 平商1年 **田子英長**
▽二席 内一中2年 **山崎悦子**
二席 宮小4年 **中田正子**
二席 磐高2年 **原健**
▽三席 平工2年 人見晃一
三席 平一中3年 武子忠司
三席 平三小4年 高倉征鳳
三席 好間三小2年 太田仁
▽いわき民報賞
平商3年 芳賀幸子　平二中3年 寺島文雄
内一中1年 斉藤稔　平三小4年 渡辺カツ子
平三小2年 市毛博子
主催 平地区時計商工業組合

會て見ざりし寛ろげる君や單物
割烹
さなだ改め
徹金
平市材木町桜小路 電四二六

本日開店
大衆的簡易な
酒の店を
開業いたします
何卒御引立御々援の程御願い申上げます
開店三日間は粗品進呈
花はる
平市三田小路 電一八〇二

ブラウス
ワンピース
婦人Yシャツの
お求めは是非當店へ!!
唯今新柄豊富に
入荷致して居ります
平信販チケット御利用下さい
みつわ
三和婦人服
平銀座

随筆

竹軒

愛称「イノサン」こと高橋伊之助は学校を出ると私の世話で大村運送店に住込奉行しました店主大村甚蔵氏のお奥さんはふみちやんの生れた翌年癌病で死んだが後妻を迎えては「子供がかわいそうだ」といつて老婆や女中と十人の店員を指揮して独身を通しております、ふみちやんは無類のわがまゝ者でおやぢさんは常に手こずつています

伊之さんは十年一日のように勤め上げ今では通勤の番頭格です、伊之さんは学校時代は「デブ伊」とあだ名され近年の彼のからだは全くビヤダルに頭と手足をつけたような男、其上どもりと来て居るから女には縁の遠い男です、併し竹をわつたような純真な青年なので誰にでもすかれています

店主は娘も年頃になつたからよいむこをと前代議士のお世話で相当な家の次男坊と見合をしなければならないはめになりました

父親は「どうだどうだ」ときくと「私は妊娠しています」此意外の言葉に一同びつくりおやぢさんは青くなつて「一体だれの子だ」「伊之さんの子供です」関係者は頗る不愉快な顔をして帰りました。

相談の結果「先生をよべ」とゆうことで私がまいりました「いつしよにしてあげたらいゝでしよう」「桶屋のむすこでは」「今どきそんなことをゆうものでない兎に角伊之さんを呼んで下さい」「伊之さんあんたいつ頃からふみちやんと仲よくなつた」「せゝ、せんせいそれはな何の事ですか」「ふみちやんはあんたと関係して妊娠しているそうだ」「とゝとんでもないわゝわたくし関係した事などありません」どうも伊之さんのゆうことがほんとうらしい、ふみちやんに聞くと「妊娠なんかうそです、見合の人をことわるためにいゝました」との事、機を見る事に敏である私はとうとうものにして一カ月後には盛大な結婚式をあげ今では三人の子供の親になつております（筆者は元中通結婚媒介所長花沢乙丸氏）

『選擧と人權』（三）

大村哲也

松岡委員　およそ人権を侵害するものは警察官が多い。九九％は警察である。吾々、国民同士で人権侵害なんというものはありません。

現に二十七年の選挙のときに私の選挙区でおこつた無実の事件というものは御存じである。私が口をならして事実をあげて迫つた事件というものは今なお記憶に残つているはずです。それが控訴審において全部無罪になりました。無罪になつたが　その被疑者の気の毒さというものは想像のほかです七五歳の老婆を戸別訪問をうけたるかどをもつて二週間も警察に「よく留」した。或いは六五歳の病人を一週間以上も抑留した。これに対して控訴審において無罪になつたにかゝわらずその所轄の警察署長は休職になつて任意にやめたにすぎない。何等の処罰をうけていない。その局に当つて拷問を加え、圧迫を加えた警察官に対して何等処罰されていないことはまことに不都合千万なことである。善良なる国民を馬鹿にするにも程がある。

二十七年の「人権じうりん」の事実において、自殺を企てたものが二名あります。その人から詳細にきいたのですが、その言つていることを何といつても取り上げてくれない、真実を訴えても聞いてくれない、仕方がないから死のうと思つた、そうしてワイシヤツを裂いて窓から飛びおりようとしている。こういう例がほかにもたくさんあります。

こういう場合になすべきことは当然その警察官を取り調べなけ、ばならぬ。警察官が正しいというものではありません。正しくないからこのようないまわしい事案が発生しているのではないかという疑惑をもつております。

警察官に対する取調べというものをどうなされているか。今後どうされるか。これを責任をもつてなされない限りは今後決して根を断つ問題ではありません。取調官が失敗したその場合、署長も責任を負うのか、或いは隊長までおうのか或いは長官までおうのかこれを明確にして戴かぬことには、出先の警察官はほんとうに「えり」を正して捜査に当る人が少くなつてくる。

ー略ー選挙違反の場合において最初に逮捕される者の多くは、戸別訪問の罪名で逮捕状が出ているそうして捕まえてから、叩いてしぼり出すというのが今の警察の状況です。

選挙法が改正されまして労務賃金と労務者という観念が徹底しない為に事実上ビラハりして五百円もらつた、これは適法な労務賃金である。所が会計担当者の多くは平生こうゆう事務になれないために領収証をその場でとればよいものを、とらないで選挙終了後までほおつておくそうすると警察があいつは運動しておつたからといつて戸別訪問で捕まつてきて警察でこれでもかとせめたてる。お前は幾らもらつた。五百円もらつた。ビラ張りにいつてきました。ビラ張りは労務者であるかないか、はてしない議論をしている裡に労務者でなくなつてしまう。それが所謂警察のたたき出しの技術であるそうするといつのまにか買収されてしまつた事になつて調書ができ上る。調書が出来上ると善良な庶民は警察官に申したことは変更できないものだと思う。そうしてお前はこれを変更したらまた偽証罪になる。いや誣告罪になるとか種々のことをいつては〃おどかす〃のが通例である。

五人に本社賞

時の記念日ポスター入選決る

平地区時計商工業組合が時の記念日にちなんで懸賞募集をしたポスター展は平市駅前ニツコーデパート屋上ホールで開いているが、七日午後中西一路、若松光一郎画伯ら審査員が審査した結果左の通り入賞を決めた、なお佳作中優秀な作品五点について特に本社賞を贈ることにした

▼一席田子英長（平商）▼二席山崎悦子（内郷一中）中田正子（宮小）原健（磐商）▼三席人見兆一（平工）武子忠司（平一中）高倉征勵（平三小）太田仁（好間三小）▼いわき民報賞芳賀幸子（平商）寺島文雄（平二中）斉藤稔（内郷一中）渡辺カツ子（平三小）市毛博子（平三小）

佳作に入る

仕事着コンクール

婦人朝日主催の第四回全国仕事着コンクールに応募した平商等洋裁学院研究生小林武子さん(三)と白石光威さん(三)の農業村着が全国からの応募作品四百三十二点のなかから佳作と選外佳作に入賞した　小林さんの出品作品は農村のカスリと赤ダスキを洋服化した日本的な美しさを強調したもので白石さんのはグレーと紺をあしらつた農村着にボンネツト風の帽子をそえた変つたものだつた、これらの入賞作品は十一日東京目黒のドレスメーカー女学院体育館で開いたのち全国の主要都市で巡回展を行う

縣下ＰＴＡ總會

県下高等学校連合ＰＴＡ総会は来る二十六日原の町で開かれ二十九年度の決算報告及び役員の改選が行われる

ズリ山を仰ぐ子供達

泉川秀雄

【156】

広い庭の一隅には井戸端があり井戸端の左の箱の上にはざるが一つ置いてあつた。

「どうだろう、もつといい方法で相手に傳える方法がないかなあ」

健三は腰をかゞめ乍ら頻りに考え込んでいる。

「ええと、健三君」天野は急に真剣な表情になつた。

「前に先生から国語の時間だつたと思うが通信ということについて習つた覚えがあるね」

「通信について、うん…」

「その時、ほら、耳の遠い人について自分の考えを述べる時はどうすればいいかつて先生から質問されたことがあつたね」

「あつ、そうだ、そんなことがあつたつけ」健三はこう叫ぶと知らず知らず微笑を浮かべた。

天野は冗談ともつかない言葉で「変な所で勉強が役立つものだね」と云つた。

健三はカバンの中から帳面と鉛筆を取り出しながら乱暴な字でこう書いた。

「明子さんが自動車にはねられてけがをした。大したけがでもないが、今大山病院にいる」そして老婆の眼の前に差しだした。

勉強の押し売りみたいだがこれこそは効果正に百パーセントであつた。

老婆の表情は見る見る中にあおくなつた。

「な、な、なんだと。明、明子が。それ本当か。う、うん…」恐怖の表情は老婆の全身を襲つた。

「健三君、今度は分かつたね」

「うん、よく分かつた様だ」と云いながらなおも老婆の表情をじつと見た。

「健三君、今度は心配はいらないよつて、書いた方がいいよ」

「うん」こう云つて健三は鉛筆の芯をなめなめ「心配無用」と大きく書いて見せた。

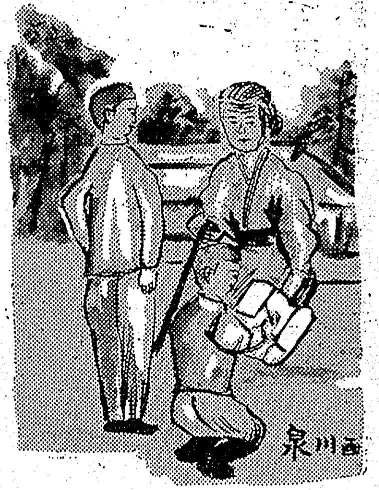
健三も天野もこれで労力を費さず自分の意志を完全に老婆に傳える事が出来た。

幸いにこの老婆は耳は遠かつたが文字は読めた。

「じやこれで一先ず任務も済んだ。さて、これから真直ぐ家へ帰ろうか」

「帰ろう。後は何んとかなるだろう」

二人は任務が済み安心したのか早速帰り支度に取りかかつた。



老婆はたつたまま何んとも云わなかつた。二人の子供達の様子をじろじろ見ていた。

硬つた表情は流石不安らしかつた。健三も天野も急にこの老婆を哀われに思つた。細い眼を更に細めてしばたきながら突つたつている老婆を見るとすぐに帰るのも忍びなかつた。何んとかして慰めたいと思つた。

如何せん耳の遠いのがこの意志を傳えられず残念というところだつた。二人は帽子をとると軽く会釈して老婆と別れた。老婆はいつまでも突つたつていた。

「明子さんのおばあさんつて耳が遠くて気の毒だね」今迄の老婆の表情を思い出しながら天野はこうささやいた。

MINPO　祝いわき民報創刊十周年　MINPO

待つ時間を
御利用下さい
うどん　三〇円
牛めし　六〇円
焼酎　五〇円
カツ丼　一〇〇円
支那そば　四〇円
カレー　六〇円
お酒　七〇円
チヤーハン　八〇円
牛めし
伊東
平駅前電１０２２

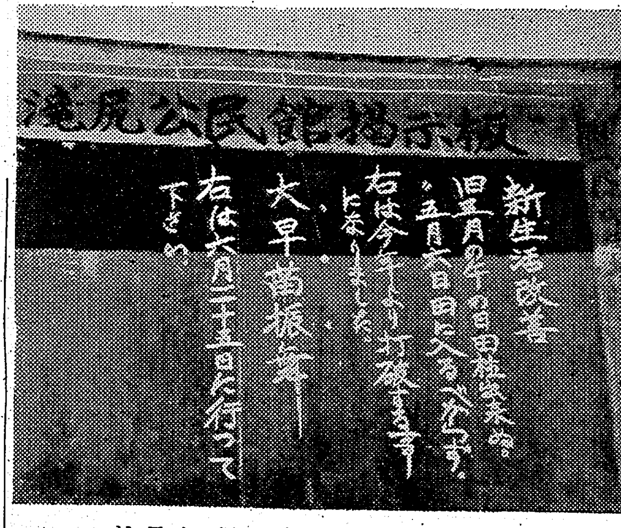
〃滋養分と美味を誇る〃
富士屋パン店
平市新川町
電一四三四

武者人形　二八〇圓より五〇〇〇圓まで
鯉のぼり　布二五〇圓より八〇〇〇圓まで
大特價販賣中
平市一丁目電六〇二
森下玩具店

平復興建設事務所
所長　鈴木壯
平市正月町五五
電話三四九番

農家の迷信打破へ

二千の指導員が協力猛展開



〃端午の節句には田に入るな〃その他農村に信じられている迷信は多く根強いため思わぬ悲喜劇が見られるが、石城地方事務所改良課では昨年から郡下二千の農業指導推進員の協力を得て新生活運動のため「迷信打破」に乗り出した、以来徐々にではあるが特に農村青年男女の力で生活に支障のある迷信から破る運動が実現されて来たが、まだその成果は微々たるもので今後の新生活運動の協力が望まれている、現在いわれている迷信の一部は次の通り

【写真は遠野町滝尻の迷信打破運動】

▼金神様をいじつてはいけない
▼胡瓜、唐もろこし、南瓜は植えぬ
▼しやく子は神ごとの日に買うもの
▼佛のものは佛時に求めるもの
▼おむつは夜乾すと赤坊が夜泣きする
▼友引に葬うと誰かまた死ぬ
▼佛滅に結婚式をするな
▼一夜餅は食べるな
▼戌の日に腹帯をすると産が軽い
▼小豆飯に味噌汁をかけると結婚式に雨が降る
▼とろろ飯の茶わんで茶を飲むと中風になる
▼不熟の日に種を蒔くな
▼午の日は田に入るな
▼節句の日も田に入るな
▼烏泣きが悪いと人が死ぬ
▼夕方子供が騒ぐと雨が降る

水害を防ぐ工事

内郷市で見透しつく

昨年末の十四号台風で常磐炭鉱住吉一坑が廃鉱、入丸炭鉱が一時休山、平均六十ミリの降雨量で約千戸の住宅が浸水した内郷市では県ならびに建設省に排水用の側溝工事方を陳情する一方、二カ所の側溝工事を進めていたが五日建設省都市建設課長高谷高一氏、県観光課長ら一行四名が現地を視察しその必要性を認め総工費約二千五百万円で継続工事を進める話が具体化し建設省都市計画事業として行われる明るい見透しがついた

現在市当局が工事を進めているのは綴駅前、並に秋山地内の側溝工事で早くこれを完成し市民を水害から護ろうとするもの

継續工事 ▼綴駅前都市水利工事＝延長二千三百米、巾二米、深さ一・五米＝現在五百米造り上げた、残り千八百米の工事、工費五百万円▼秋山都市水利＝延長千四百五十米、巾二米、深さ一・五米＝の残り千四百米の工事、工費千六百万円▼一ノ坪＝金坂線国道の巾三米、延長八十米、この巾を八米に広げる、工費三百万円

内郷市の水害の最大の原因は排水路が無い事と排水先の新川の底が高いため水が逆流、低い内郷地区にあふれるもので側溝工事に伴ない新川の底を浚渫し逆流を防ぐことになつた

吉田市土木係長談「この側溝が出来上つても水害から完全に護ることは出来ないが、今迄一時間浸水した処は三十分で水が引くといつた様になります、一日も早く完成さす様に努力します」

七年を求刑

妻を殺した元巡査に

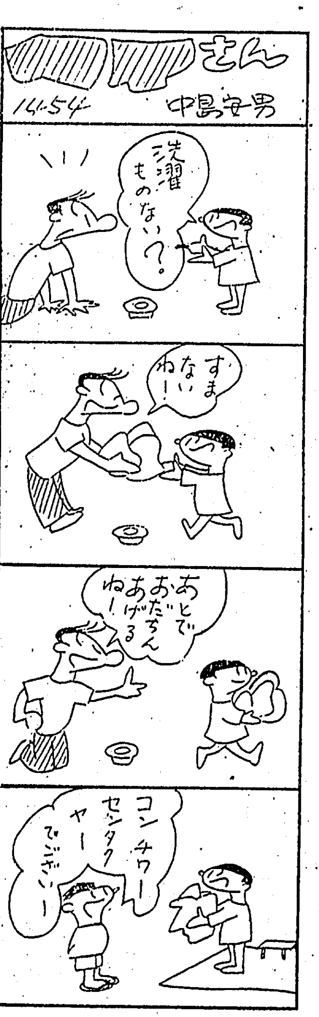
旧正月に餅のことから妻ミキさん（三三）を薪打棒で殴り殺した遠野町大字深山田もと警視庁巡査山野隼利（三六）にかゝる殺人求刑公判は八日午前十一時四十分から地裁平支部で大竹裁判長かゝり、松沢検事真木弁護士立会で開廷、松沢検事から

寸毫も情状酌量の余地はないが精神鑑定の結果精神耗弱と診断されたゝめ

と前置きして懲役七年の求刑があつた

自轉車盗まる

六日午後七時三十分ごろ内郷市宮町鬼カ沢三大工山形政記さん（四三）は平市田町パチンコ店「ハトクラブ」で遊戯中中古品自転車一台＝時価五千円相当＝を盗まれた


さん
14・54
中島安男
洗濯ものない？
すまないねー！
あとでおだちんあげるねー！
コンチワーセンタクヤーでござい

銀行員がヤミ金融

平署から書類を送検

平署は農村の金詰りに乗じて高利のヤミ金融をやつていた小川町大字下小川字中島大東相互銀行小名浜支店集金係吉田雄四郎（五三）を任意出頭の形で調べていたが金融法違反容疑で書類送検することになつた、調べでは吉田は二十七年二月十一日から本年四月二十二日まで小川町上小川字古屋一一農業鈴木広一さん（三三）ほか十五名に十七回にわたり最高二十万円から一万円計百五万円を貸しつけ二割からの高利を取つていた、手口としては同銀行に預金のあるものだけに限り「銀行から金を借りたい」と相談を受けると「銀行は手続きが面倒だから私の金を貸しましよう」と言葉巧みに信用させ、受領書に約手を使用し、担保物件、利子を記入せずあとから勝手に記入し貸倒れを防ぐため預金を担保とするなど用意周到だつた、なお同人のヤミ金融が銀行に判つたため四月二十二日平支店から小名浜支店に転任させられたもの

五年を求刑

殴り殺し事件

去る二月十日飲酒の上薪で藤原貢さんを殴り死に至らしめた磐城市大字中の作吉田久（三三）にかゝる傷害致死の求刑公判は八日午前十時半から地裁平法廷で大竹裁判長係り、中村検事真木弁護士立会で開き中村検事から懲役五年の求刑があつた

二人が負傷

ソリの下敷

田人村農業板垣長蔵さん（四六）同小野惣之助さん（四四）の二人は七日午後三時三十分ごろ平草山林地内でソリに丸太を積んで運搬中傾斜地点で転落ソリの下敷となつて重傷を負い植田町櫛田病院に収容され応急手当の結果生命はとりとめた

潜水夫が死体を捜索

昨報＝愛妻を絞殺し更にあどけない長子のクミ子ちやん（六ツ）を道連れに去る六日小舟に乗つて鮫川河口から岩間海岸に覚悟の自殺を図つた大沢光好（三六）の溺死体はこの日漂着したが、クミ子ちやんの死体は部落民の協力で捜索したが見当らなかつたので八日勿来署では潜水夫を頼んで河口から沿岸一帯にわたつてさがしている

汲取三輪車が突込む

一名負傷す

七日午後八時四十分ごろ平市三丁目四一地内（平舘横十字路）で同市月見町平衛生奉仕社の汲糞三輪車＝運転手同市小泉東一四九小野睦典（一九）＝はハンドルを切りそこね、自転車で来た常磐市湯本字下浅貝二三常磐炭鉱ボーリング工管野光男さん（三三）もろとも常磐商事KKの板壁に突込み、小野さんは木村病院に収容されたが左下腿部に四週間の裂傷を負つた

七葉満

○…農繁期特別防犯取締り月間となると署員の神経も自然トガつてくる、六日の夜内郷市綴駅前矢坂神社境内をウロチヨロしていた挙動不審の男を内郷署員が進行宿直署員二名が交互に訊問したが、何の反応もなくたゞニヤニヤ

○…業を二ヤした刑事到々おこり出し「フザケルのもいゝ加減にしろ」と怒鳴りちらした、其処へ何事ならんと馳けつけた村上刑事〃ナーンダ湯本のホツポカ〃には眼を三角にして調べていた署員たちも呆然

○…この〃ホツポ〃、盗へきがあり三度常磐署に御やつ介になつたこともあり、オマケに頭が少々変だと聞いた刑事連、口あんぐり

MINPO　祝いわき民報創刊10周年　MINPO

福島縣石城家畜保健衛生所
所長　河原田雄三
平市上川原七八
電話一四八四番

日本炭鑛労働組合
常磐地方本部
執行委員長　大河原一次
執行副委員長　小室治雄
事務局長　今井広
調査部長　佐藤長栄
教宣部長　高橋理市

全國石炭鑛業労働組合
常磐地方本部
執行委員長　武藤武雄
執行副委員長　熊田徹雄
事務局長　坂場実
会計部長　熊田耕二
執行委員　小林峰一
〃　遠藤政雄
〃　高村仁作

福島縣労働金庫
平支店
理事長　田畑金光
専務理事　福田武雄
支店長　福田信武

福島縣酒類卸株式會社
平支店
支店長　荒川千代造
平市鍛治町一〇電二三四一

足あとの道

立花惠子作

(28)

三

久しぶりで晴々した気持になつた美子は、玄関を後にチカチカと夏の日を照り返す砂利道を歩いた。歩を運ぶ度に靴の裏で小石がサクサクとなる。彼女の胸の中迄ひびくその快い音は、負けて引き退ると云うよりもむしろ解放された喜びの響だつた。

決議文問題の職員会議では、美子の立場に同情する者も多かつたが、二十五年勤続の生徒監大村の隠然たる勢力の前には抗すべくもなく、校内秩序維持のためにも美子の監督不充分のみが追究される様な結果となつてしまつた。だがあの決議文に驚いた学校では、とに角事件を拡大させないために彼女を弓子の家にやつて出席を促す事となつた。

美子は今朝、一大決意を持つて勇んで下宿を出た。終業式後生徒に成績表を渡し、クラス主任としての務めをおえた美子は、校長にかねて用意の辞表をさし出したこちらからドカンとやつつけてきれいサツパリした気持だつた。もう形の上で孤立してしまつている自分が、今更職員達に挨拶をして見えすいた送別の辞等受け、出て行きたくはなかつたが、唯一人、大村だけには一応今迄のお礼の挨拶はしておきたかつた。

「マア、只今校長先生から伺つてビツクリ致しました。やむを得ない一身上のご都合だそうで、私として折角親しくして頂いたのにお引きとめ致したい気持は重々ございますが、これ又致し方ない事でございます。本校がこの様に民主化されましたのも、先生が発らつとしてこの二年間ご指導なさつたたまもので、父兄の方も非常に喜んでおりましたのに、本当にお名残惜しうございますね」

大村はニコニコしながら常になくお世辞を云つた。「去る者は追わず」勝ち誇つた大村には正に当を得た結果であつたのだろう。これで本校のカクカクたる名誉も傷つけずにすんだ。もう一つ邪推すれば、自分への手痛い叛逆者が自ら逃げ出したと云う所であろう。

—熊木弓子の正しさを守つてやるには、私としてはこうなるより仕方がなかつたのだ。九月になつた時、クラスの生徒が出て来てきつと驚くだろう—

自分を慕つてくれる生徒の事を思うと、美子はセンチになつて胸がグツとつまつて来た。

—あの生徒達とこんな別れ方をしたくはなかつたんだけど—

いかめしい石造りの校門迄来た美子は、廻れ右をして名残を惜しむ様に校舎を眺めた。相変らずの伝統からぬけきれられずにいる古めかしい学校、古いニオイのしみ込んだ立木に囲まれている校舎、そのコの字形の端には懐しい雨天体操場がある。そのわきで小さいくせにガラスばかりいやに光つているのが、問題を生んだ体操教員室だ。広々とした校庭には生徒のかげも見えない。たゞポツンとバスケツトボールだけが暑い日中に向き合つて立つている。運動場の端には、熊木組の手になつた新校舎が輝く様に視線を遮つている。来春の学級増加迄は洋裁講座が開かれて、学校の経済危機を助けるそうだ。

—私は昨日迄と違つて今日からはもう先生じやないんだ—

肩の荷を下した美子は、思わず両手を高くさし上げて大きなあくびをした。身に受けたよどんだオリを吐き出して学校に見せつけてやつた。

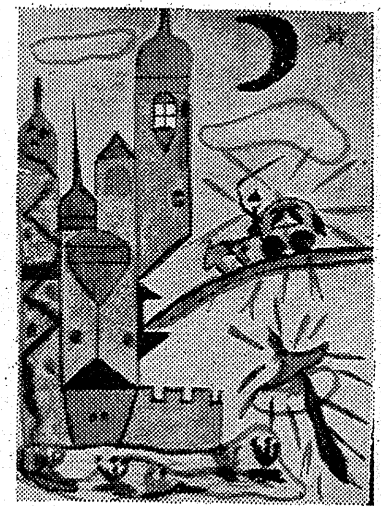
—アヽ、私も始めて大あくびが出た—

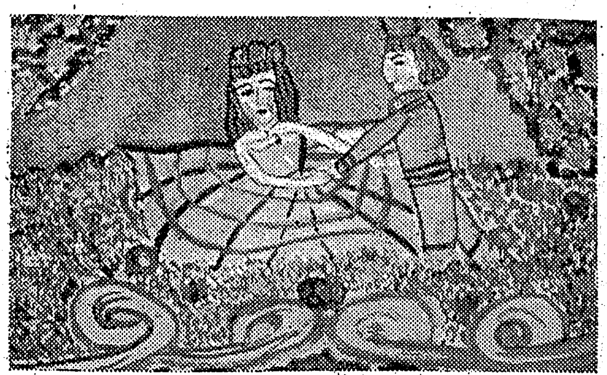
と思うと、独りでに足は猛の家へ向つた。

彼女の影が舗装道路に弾む。

学芸

平一小作品





ゆめの國　五年四組　桐原英剛

ゆめの國　五年四組　村田紀惠

ハーモニカ

三の四　東條利治

きよう、学校から帰つてから、ぼくはべんきようをして五円をもらいました。そのお金でキヤラメルを買いました。キヤラメルをたべてから、「お母さん、ハーモニカいつ買つてくれるの」といつたらおかあさんが、

「さあ、どこにあるかあててみなさい。」といつたので、ぼくはすぐさがしました。ぼくのつくえに入つていました。

ぼくは、すぐに取り出してふいてみましたが、どれがなんの音かわからないのでこまつてしまいました。すると、お母さんがおしえてくれました。そのハーモニカはミヤタのハーモニカでした。お母さんが

「あんまりふいていると、くちびるがいたくなりますよ。」と言つたので、ぼくはそれがほんとうかどうかためしたくなりました。おかあさんが

「ちよつとかしてちようだい」といつたのでぼくはかしました。それより、くちびるがいたくてこまつてしまいました。

つぎの日、学校のよういをしてでかけました。こたべくんがハーモニカをもつてきました。

二時間のおわりに、ぼくがごふじようへいつてきて、かいだんをあがるとき、二年二組の人が「ちよつと、こたべくんからハーモニカとつてきて。」といわれました。ぼくはすぐにこたべくんにいいました。するとこたべくんが「ああ、あれか」といいました。

ぼくは、学校からかえると、お母さんにハーモニカをおしえてもらいました。

弟は、どこかへあそびにいつてまだ帰つてきません。やつと帰つて来ました。

「おにいさん。ハーモニカのあつたところわかつた。」

「うん。かんたんにわかつたよ」

「ハーモニカふいて。」といわれたので、ぼくはこまりました。

「うん、だけど、ドレミファソラシドだけだよ。」

ぼくがふいたら、弟が

「すこしうまいなあ。だつて、おにいさんだからふけるんだね。」

ぼくははずかしくてこまりました

とけい

三の一　福田喜久子

とけいのふりこが
かつちん、かつちんうごいている
わたくしが、とけいのはりを
みつめていたら、また
かつちん、かつちん
うごいたよ
かわいい、かわいい
とけいさん、かつちんかつちんうごいておくれ。
わたしが、じつとみつめているからね。

お天氣

三の一　鈴木隆雄

あおあお、している木のは
ときどきはるかぜが
そよそよとふいてくる
なんと天気のよい日だろうな。
きゆうしよくしつからけむりがでている。
くらいへやの中では、
白いはちまきしたきゆうしよくのおねえさんがはたらいている。
ぼくもそろそろはらがへつてきた

いわき歌壇

石城歌話會作品

六月五日　於福島整肢療護園
互選五点以上

手術せる児の枕辺に立てぬ児がおやつ持ちよりなぐさめている　鎌倉みえ

まだ弱き蚊がよろめきて歌かくと見つむる紙の上をよぎりぬ　瀬谷真吉郎

薬たつさへ田に出でかせぐ老人の都に去れる子をなげきいふ　高萩脊嵐

ペツタ遊びくぎれし廊下の夕暗に母求めなく新入園児　渡辺孝子

歩をとめていざり来る友を待つ園児らに始業の鐘は追ふ如く鳴る　大谷栄子

歩かむとひたにつとむる児の下肢はかなしきまでにけいれんしたり　猪狩守民

ミシン売る人の口の端たくみにて度たび心かたむかむとす　橋本さよ

日に幾度幼きものに積みてやる積木の家に幸ちは育てむ　矢崎貞子

うるさからぬ程にラジオの音をおとし今宵妻ときく郷土民謡　鯨岡豊

ぎりぎりの線に息つく生活が明日の離業に暗きかげもつ　矢内皆水

日曜作業を実習として今日もゆく今年大学を卒えし末の子　斎藤常雄

不自由さになれたる園児らは自由なり松葉杖片手に蛇をとらへし　宮本正次郎

醤油倉庫の奥にて物をうつ音の反響は高き窓に放たる　後藤欣子

宿命のかなしみに堪えて生きむとす光の歌の子らを祈りつ　斎藤あさ子

今晩のラジオ

8日

◇NHK 一三六〇KC
六・四五（福）福島県新地図
七・三〇 即興劇場
八・〇〇 放送演芸会　落語と講談
九・一五 シンフオニーホール
一〇・一五 新しい道
一〇・三〇 ラジオ喫煙室

◇ラジオ福島 一〇六〇KC
七・三〇 浪曲名人集〃松平国十郎
八・〇〇 ロート物まねコンクール
八・四〇 アルゼンチンタンゴ
九・〇五 ドレミフアゲーム
九・三五 角家演芸会
一〇・四五 名作アルバム

今週の映画

1日—7日

★平館　夜六時三五分
貝殻と花　亡命記
★民劇（改装休館十日まで）
★聚楽館　夜六時三〇分
しのび逢い　月に飛ぶ雁
★ひかり座　夜六時四五分
高校三年　マルタ島攻防戦
（七日から）
★世界館　夜七時一分
青龍街の狼　つばくろ笠
◇磐城小名浜
☆金星座　六時五〇分
路傍の石　マヽ横を向いてて
ピアノ交響楽=シネスコ
☆磐城座　夜七時
フランス航路　火のばく走
☆金美館　七時四〇分
快傑黒頭巾　百面童子の一、二部

カメラは田中

特選
五月人形
平市 ふくだや
電748・1958
二丁目

募集 輸血會員
▽謝礼一回千円前後▽適量採血無害▽健康な満十九才より四十才の男女▽申込費用一切無料▽但要写真二枚
福島縣輸血協會 平支部
平市長橋町性源寺前 電話二〇二九番

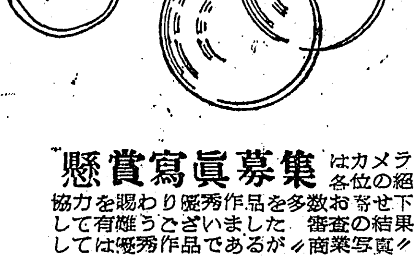
ナショナル 二重首振 扇風機
今夏も人氣一番…
扇風機一台のお買上げで
ナシヨナル家庭電化製品
一式超豪華景品が当る
抽せん券を差上げます
藤越

小鳥と釣具は三幸

新しいDPは富士

純良 毛布
永い信用に 一流メーカー品を
いつも豊富に取揃え
の店 中野洋品店 平 電5 33

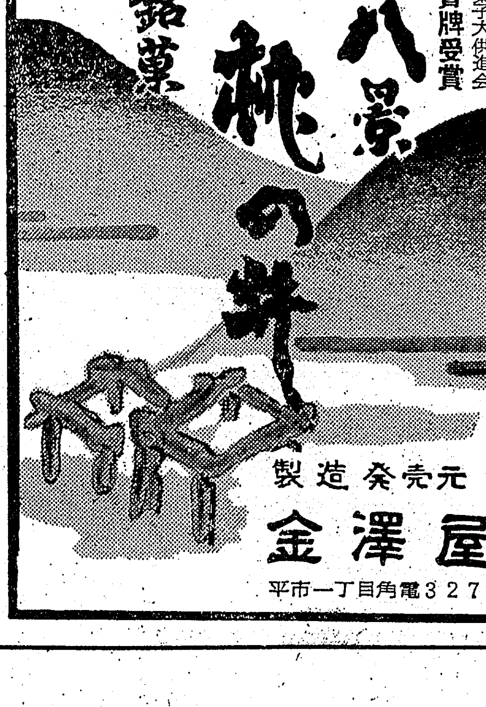
地下タビ 運動靴 長靴は
祖國
[illegible]



懸賞写眞募集 はカメラファン各位の絶大な御協力を賜わり優秀作品を多数お寄せ下さいまして有難うございました 審査の結果写眞としては優秀作品であるが〃商業写眞〃としては狙いが今一層の努力を願いたいところという審査評を頂きましたので下記応募者全員に記念品を贈呈することにいたしました

福島市吉井宥人様　平市小林様　平市古川様
平市新妻正様　常磐市志賀尚様　常磐市小松崎正男様　常磐市新妻宏様（順不同）

眼鏡商 松本
平市1の29 電1851



第二回東北菓子大供進会
名譽大賞牌受賞
いわき八景
平銘菓
[illegible]の井
製造発売元
金澤屋
平市一丁目角 電327

ミシン
パインミシン
シンガーミシン
福助 芝浦 日産
一流ミシン取扱
☆チケツトご利用下さい
工場 植田町北台町 電三六
営業所 植田町本町 電呼三号
飯塚ミシン商會

外科
胃腸科
泌尿器科
性病科
眞木醫院
平市南町（公会堂通）
電話一一九五番

店舗譲度
▽平市一丁目目抜通り▽間口二間半、三十坪▽委細面談
姓名在社（二五）

急募
▽女中さん▽年令十八才—二十五才▽待遇家族的▽給料委細面談
四倉町仲町 ニツポン・ビール

賣料亭 店舗向 宅地
▽三七坪▽田町一等地
平市才槌小路踏切際 電三六一
色川材木店